

経済倶楽部便り

◆東京◆ 5月27日の定時会員総会後の理事会で、新理事長に柴生田晴四・東洋経済新報社前社長が選任されました。今後ともよろしくお願いいたします。

6月の講演会は、歳川隆雄氏（「インサイドライン」編集長）、藤崎二郎氏（前駐米大使）、小林和男氏（ジャーナリスト）、元NHKモスクワ支局長、若田部昌澄氏（早稲田大学教授）をお招きしました。

新会員を紹介します。伊藤孝之・東銀リース取締役総合企画部長、大坪教光・みずほ証券リサーチ&コンサルティング執行役員、加藤健一・電通執行役員、小西工己・トヨタ自動車常務役員・広報部長、澤山英夫 S M B C コンサルティング顧問、増田誠・日本曹達常務取締役、鎌田好郎・NECロジステイクス顧問、中川敏洋氏。

（塚田 紀史）

◆中部◆ 先頃、名古屋の工業地帯にある秤はかりメーカーに話を聞きました。このメーカー、創業は1600年代です。今日、名古屋圏の製造業というと、トヨタ自動車の影響から自動車や同関連産業が中心と思われるがちです。実際、工業出荷金額では自動車関連の比率が大きいことは確かですが、この秤メーカーのように、非自動車関連でも現代のニーズに自社技術を活かしている企業が少なくありません。この会社の場合、フォークリフトやトラックに電子秤を取り付け、荷下ろし作業と計量を同時に行うという作業効率の改善提案をして伸びています。また、鋳物会社がフランス製の圧力鍋を凌駕する製品を作り、爆発的な売れ行きを見せているケースもあります。いずれも工夫の仕方に製造業の歴史的な厚みを感じさせるものがあります。

6月の定例講演会は作家の佐藤正明氏、NHK解説委員の出川展恒氏、三菱UFJモルガンスタンレー証券の嶋中雄二氏を予定しています。

（日暮良一）